

伏尾台コミュニティ推進協議会

会長 倉田晃

平成19年6月に「池田市地域分権の推進に関する条例」が施行され、同年9月から10月にかけて、市内11小学校区に「地域コミュニティ推進協議会」が設立されました。



地域分権とは、「自分たちの街は自分たちでつくろう」のかけ声の下、地域住民が自主的・自立的にまちづくりを行うことで地域内の共通課題の解決を図り、市との協働でまちづくりを進めていこうとする制度のことです。

この制度の最大の特徴は、予算提案権です。地域内の課題抽出・解決を検討し、その実現に向けた事業に対する予算を提案することができます。

伏尾台からもこれまでに3回の予算提案をさせていただきました。平成20年度は青パト車の購入や防災倉庫の設置など「安全安心」をテーマとした事業提案となり、平成21年度は主に高齢者の方の利便性の向上を目的としたコミュニティセンターの改修工事という「福祉」をテーマとした事業提案となりました。また、平成22年度は防犯カメラの設置や街灯の照度アップを提案させていただき、さらに安心安全なまちとなることを期待しております。

初年度の提案となりました青色パトロール事業には現在約70名の隊員にご協力いただき、平成20年9月の開始以来、小学校の登校日に一回一時間、一日四回の運行を続けることができます。伏尾台地域として誇れることであり、隊員の皆様に感謝しております。

まだまだ地域分権制度の周知徹底がされていないように感じます。伏尾台では年に数回アンケート付の広報紙を発行し地域内に全戸配布しておりますが、「予算提案権」を生かしていくため、



引き続き地域分権制度の周知に努め、多くのご意見をいただき、伏尾台をより良くするための話し合いを続けていきたいと考えております。

4月号から池田市公益活動促進協議会とコラボレーションして「つながり」を発行することになりました。

「商工会議所ってどんなところ」とお思いの方もたくさんいらっしゃると思います。

場所は池田市役所の隣、176号線を挟んで池田郵便局の筋向かいにあり、3階建ての建物です。

商工会議所は「商工会議所法」という法律に基づいて設立された公益性の高い地域総合経済団体で、会員企業によって組織され、事業の発展につながる様々な支援をしています。



この他に、簿記、珠算等各種検定、パソコン教室、貸会議室など

チャレンジ

この「チャレンジ」は、地
で生まれてくるコミュニティ
を起ち上げようとする皆さんを
創業や融資手続きなど会議
紹介してい

カラーにして
読みやすい情報誌にしたい。
より広い読者にも手に取っていただきたい。
そんな考えで、紙面をリニューアルしました。

池田市公益活動促進協議会と全くちがった層を対象にしてきた商工会議所とのコラボで市民力を高め、各活動団体の支援をすることで、つながりを深め、文化の継承も。

魅力あるまちづくり、池田らしさのあるまちづくりをめざします。

●企業ともつながりのある

人材をもつNPOと経営支援のノウハウをもつ商工会議所の協力により、各活動団体がいろいろな事業を展開し、チャレンジしやすい支援を続けて参ります。

団体立ち上げの第一歩から相談にお出かけ下さい。